

「最高のリヤエントリー」と言われたHANSON ESシリーズ(92年)、CSシリーズのフロントセブンをさらに進歩め、万が一凍着を招いたとらえられないライオンが特徴。日本人の足型に合わせて左右非対称の形が最も画期的だった。
【ES91】の当時の価格は58,8万円



Photo: M&M

「最高のリヤエントリー」と言われたHANSON ESシリーズ(92年)、CSシリーズのフロントセブンをさらに進歩め、万が一凍着を招いたとらえられないライオンが特徴。日本人の足型に合わせて左右非対称の形が最も画期的だった。
【ES91】の当時の価格は58,8万円

「最高のリヤエントリー」と言われたHANSON ESシリーズ(92年)、CSシリーズのフロントセブンをさらに進歩め、万が一凍着を招いたとらえられないライオンが特徴。日本人の足型に合わせて左右非対称の形が最も画期的だった。
【ES91】の当時の価格は58,8万円

同じデザイナーから生まれたヒット商品たち

中編はスキーブーツ以外にも数多くのヒット商品を手がけている。代表的作品は松下電工の洗濯機化台(いわゆる朝シャン台/88年)、松下電機のスリムエアコンEolia(89年)、シャープのホームファクシミリ(90年)、ユニーダの真上モード扇風機(92年)など。いずれも業界初のオリジナルティと先進性を話題を集めた。最近では抗がん剤治療で脱毛に悩む女性向けに帽子取付型ヘアブレス・WithWigを開発し販売させている。



ヘアブレスは抗がん剤治療で脱毛に悩む女性向けに帽子取付型ヘアブレス・WithWigを開発し販売させている。

HANSONブランドHISTORY

HANSON社は1970年、ヘッド社やラング社で経験を積んだ技術者デニーとクリスのハンソン兄弟によって、アメリカ・コロラド州バードラーに設立された。高い技術力と独創的なアイデアで、75年には世界初のリヤエントリーブーツを開発。その性能やフクシビリティ、画期的デザインによってアメリカ最大のスキーブーツメーカーに成長する。82年、約1年などのスポーツ用品で知られるダイワ精工がHANSON社を買収。当時、外国ブランドの牙城だったスキーブーツの圏外に乗り出した。以後、独自のスキー工学を駆使したりヤパックスシステムOITシリーズを皮切りに、軽量化を実現したCS、ESシリーズとヒット商品を量産。国際ブランドとして確固たるポジションを築き上げた。

【アンティ】に続くハンソンのリヤエントリーブーツは、良とスキーをより強固にリンクさせたフィクションに進化。国際ブランドになっただけではフェアに評価したかったクリス・エドワードデザインはG2を経て、実戦といえるほどにたどり着いた。



スキー再興のカギはリヤ式の復活にあり!

「バックレス」を具化したHANSON CST11(87年)、モック少橋で当時最良のウェッカーというカーボン素材を使用。強度と軽量化を実現し表現的なネットに

「バックレス」を具化したHANSON CST11(87年)、モック少橋で当時最良のウェッカーというカーボン素材を使用。強度と軽量化を実現し表現的なネットに



「バックレス」を具化したHANSON CST11(87年)、モック少橋で当時最良のウェッカーというカーボン素材を使用。強度と軽量化を実現し表現的なネットに